

## 宮崎森林管理署都城支署交渉（全国林野関連労働組合都城支署分会）

### 議 事 要 旨

1 日 時：平成29年11月10日（金）15：00～16：00（60分）

2 場 所：宮崎森林管理署都城支署 会議室

3 出席者：

宮崎森林管理署都城支署	前杉 成美	支署長
同	久保田 修	総括事務管理官

全国林野関連労働組合都城支署分会	藤田敬一郎	執行委員長
同	谷口 慎吾	副執行委員長
同	三浦 健司	書記長
同	志戸 祐二	執行委員
同	米丸 栄輝	執行委員
同	釜 稔	執行委員

4 交渉事項

- （1）業務に係る労働条件の考え方について
- （2）職員の健康安全に係る確保対策について
- （3）その他

5 議事概要

- （1）業務に係る労働条件の考え方について

組合）平成29年度の業務及び特に収穫量が増加して担当者、森林官の負担増となっている。平成30年度も更に増加するのではないかと組合員が不安に感じている。収穫量・業務量の考え方や今後の進め方をどのように考えているか。

当局）現段階においては、次年度の業務量等については確定していないが、H29の収穫・生産量等についてはH28より増となっており、要員が減少する中、厳しい現状を局には伝えながらも局全体での組織として対応せざるを得ない現状となっている。今後の業務増に対しては、調査の簡素化、委託化及び職員の応援体制など協力を得ながら取り組んで参りたい。また、必要な予算、要員については時期を失しないよう上局へ要望して参りたい。

組合）毎年のように要員が減少している。業務量は増える一方であるが、要員問題についてどのように対応していくのか。

当局）局全体での要員が厳しいと聞いているが、当支署は局でもトップクラスの業務量であり、要員確保については上局に強く要望していく。

組合) 昨今、民有林も主伐期を迎え、事業体も国有林から民有林事業へシフトしている。国有林の事業計画においても契約不調となり実施困難な事業が発生する時期が到来してきている。これらについてどう対応していくのか。

当局) 事業体の育成が課題であることは認識している。入札不調への対策としては、入札予定の公表及び計画的な発注に努めるとともに、発注規模の見直し等を行って参りたい。また、現場実態と単価的に乖離があるような事業については、上局へ必要な検討を要望して参りたい。

組合) 林道修繕費の予算については、足りないと考えている。予算確保をお願いしたい。

当局) 予算に限りがあることから、優先順位により林道修繕に取り組む。また、必要な林道修繕費については上局に上申していく。

## (2) 職員の健康安全に係る確保対策について

組合) 森林事務所に地域技術官を配置し、総括等が事務取扱となっている森林事務所の作業指示、安全対策などはどのように対応しているのか。

当局) 日頃の作業指示、安全対策等についても地域技術官において取り組んでいただいている。署幹部においても目配り、気配りを行い必要に応じ現場に同行するなど取り組んでいきたい。

## (3) その他

組合) 車輛の更新についてどのように考えているか。現場においては林道走行で車の傷みが激しく、更新すべき車輛が多い状況にある。業務に支障が出ないように、必要な車輛は更新や修理を適切に行ってもらいたい。

当局) 車輛の更新については都度上申しており、今年度も1台更新することとなっている。また、必要に応じ修繕等を行いながら管理しているところであり、現場業務に支障が出ないように、署の車輛を森林事務所で使用するなど取り組んでいる。

組合) ポータルの不具合については、どうなっているか。ポータルが使用できないことにより業務に支障が出てきている。早急に改善されるよう上局へ申達してもらいたい。

当局) 本件については、署で対応出来ないことから上局へ要望していく。

組合) 分収造林業務については、森林官への指示が、業務、総務グループの担当より

重複していたり、契約者へも重複して通知されたことにより、森林官へ契約者からの問い合わせがあるなど苦慮している。これらを解消する対策を検討されたい。

当局) グループ間の打合せや担当者の配置等も含め対策を検討していきたい。

組合) 旅費については、特に中央研修等における支払が遅く職員へ負担がかかっている。局における検算時の修正で遅れていると思われるが、各署から中央研修に行く場合のひな形等について、局において作成するなど取り組めないか。

当局) 現状については認識している。貴組合の要望については上局に要望していく。